

来月の消費予報

夏休み、ボーナス期特有の意欲は高まるも、物価高の影響で7月の消費意欲指数は、過去5年の同月最低値に

株式会社博報堂(本社・東京)のシンクタンク博報堂生活総合研究所は、20～69歳の男女1,500名を対象に「来月の消費意欲」を点数化してもらうなど、消費の先行きに関する調査を毎月実施。その結果を「来月の消費予報」として発表しています。

※6月3-6日に調査(詳細はP5)

2024年7月の消費意欲指数は46.5点。前月比で+3.1ptと大幅に上昇し、前年比では-0.6ptで横ばいとなりました。

7月の消費意欲指数



【前月比】

+3.1 ポイント

【前年比】

-0.6 ポイント

■：前月比/前年比で上昇 ■：前月比/前年比で下降

「消費意欲が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(7月)の消費意欲は何点くらいですか?」と質問。

カテゴリー別消費意向

【前月比】



【前年比】



★ UP：前月比/前年比で20人以上増加 ● DOWN：前月比/前年比で20人以上減少

「来月(7月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスがありますか?」という質問に「ある」と回答した人にも、具体的に「買いたいモノ・利用したいサービス」を選んでもらった結果を前月/前年と比較して作成。

7月のポイント

Point1 長期化する物価高の影響で、女性を中心に消費意欲は伸び悩む

夏休みやボーナス期を迎える7月は、例年消費意欲指数が高まる月です。今年も前月から+3.1ptと大きく上昇しました。男女別でみると、男性+5.9pt、女性+0.3ptと、特に男性での上昇が目立ちます。前年比では-0.6ptの横ばいですが、7月としては過去5年で最も低い数値となりました。

消費意欲指数の理由(自由回答)をみると、前月と比べて、消費にポジティブな回答(6月287件→7月369件)は増加し、ネガティブな回答(6月934件→7月861件)は減少しました。具体的には、ポジティブな回答で、「(旅行など)出費の予定・欲しいものがある(6月119件→7月161件)」「ボーナスが入る(6月26件→7月62件)」が増加しています。ネガティブな回答では、「今後の出費予定のために我慢(6月174件→7月117件)」が減少しています。

前年比では、消費にポジティブな回答(23年7月361件→24年7月369件)は横ばいで、ネガティブな回答(23年7月819件→24年7月861件)は増加しています。具体的には、ポジティブな回答で、「(旅行など)出費の予定・欲しいものがある(23年7月134件→24年7月161件)」がやや増加した程度で、その他に目立って増減したものはありません。ネガティブな回答では、「今後の出費予定のために我慢(23年7月96件→24年7月117件)」がやや増加しました。また、「物価高・値上げ・円安」は、5ヵ月連続で前月から増加(24年2月59件→3月65件→4月78件→5月85件→6月114件→7月155件)し、前年比でも増加(23年7月118件→24年7月155件)しました。男女別では、女性の前年比での増加(23年7月55件→24年7月83件)が目立ちます。

夏休み、ボーナス期特有の意欲は前月から大きく上昇したものの、長期化し、深刻さを増す物価高の影響から、女性を中心に7月の消費意欲は例年より低めとなりそうです。

Point2 消費意向は、男性において幅広いカテゴリーで前月比・前年比増

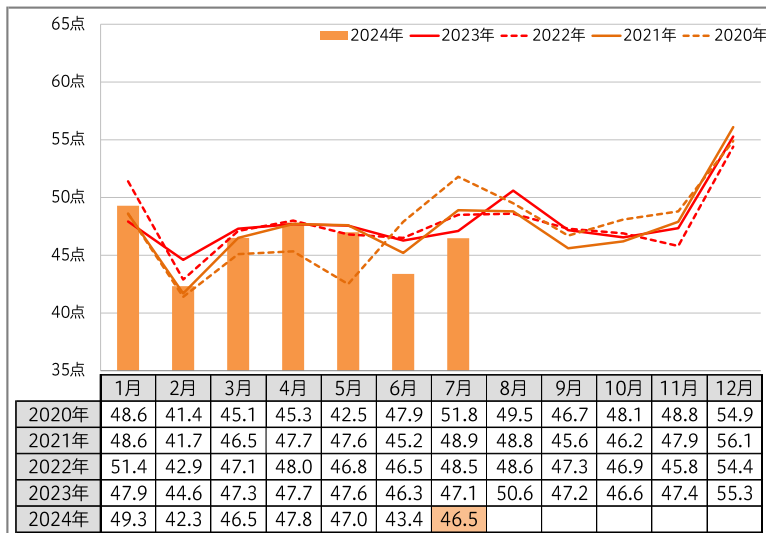
「特に買いたいモノ・利用したいサービスがある」人の割合は29.4%で、前月比では+3.6ptと大幅に上昇し、前年比でも+1.2ptと上昇しました。男女別では、前月比で男性+6.3pt、女性+0.8pt、前年比では男性+5.5pt、女性-3.2ptと、消費意欲指数同様に男性での上昇が目立っています。16カテゴリー別の消費意向をみると、前月比では「旅行」「飲料」「書籍・エンタメ」など8カテゴリー、前年比では「書籍・エンタメ」「飲料」「外食」「食品」の4カテゴリーで20件以上増加しました。夏休みやボーナス期に向けて、幅広いカテゴリーで男性において消費意向が高まりそうです。

消費意欲指数

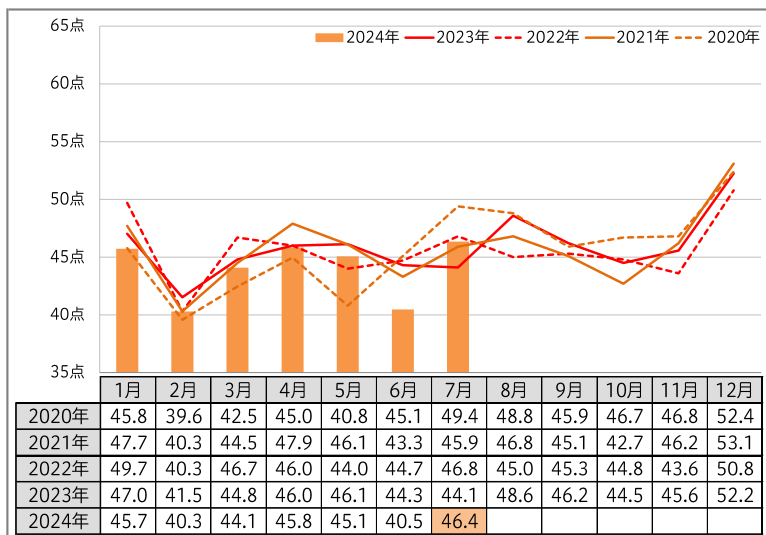
■ 時系列グラフ

Q. 消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(7月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)

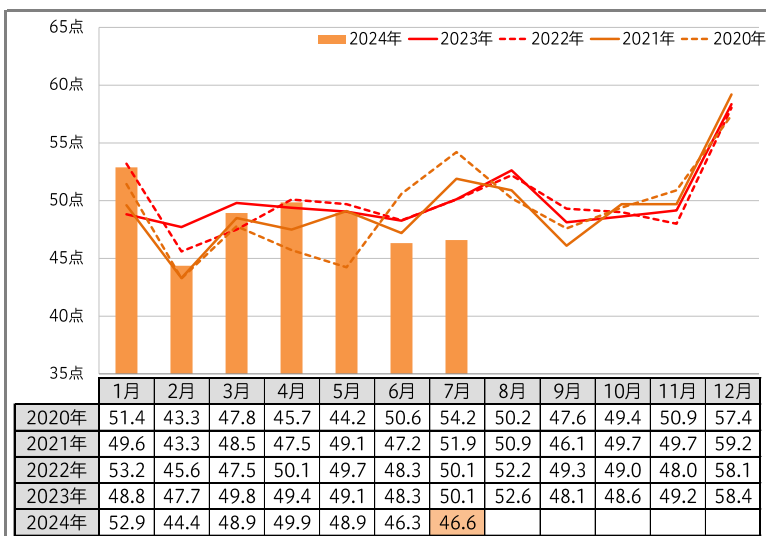
【全体】



【男性】



【女性】



※調査では小数第2位まで集計していますが、本稿は小数第1位まで(小数第2位を四捨五入)を表示しているため、点数差は見た目の数値と異なる場合があります。

消費意欲指数

■ 性別/年代別比較

	(点)						(pt)	
	24年2月	24年3月	24年4月	24年5月	24年6月	24年7月	24年7月比較 前月比	前年比
全体	42.3	46.5	47.8	47.0	43.4	46.5	+3.1	-0.6
男性	40.3	44.1	45.8	45.1	40.5	46.4	+5.9	+2.3
女性	44.4	48.9	49.9	48.9	46.3	46.6	+0.3	-3.5
20代	49.6	51.5	49.4	51.4	45.3	48.8	+3.5	-2.0
30代	43.6	46.9	49.3	45.4	43.3	47.7	+4.4	-1.2
40代	40.2	46.1	46.6	48.7	43.1	46.6	+3.5	-0.8
50代	40.8	44.8	45.6	43.5	41.6	44.1	+2.5	+0.8
60代	38.6	44.0	49.4	47.2	44.6	46.1	+1.6	-0.2

■ +3pt以上の増加
■ -3pt以上の減少

■ 消費意欲指数の理由(抜粋)

Q. (消費意欲の点数について)あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

<生活者の声 ~消費意欲指数の理由~【ボーナスが入る】>

- ・ボーナスが入るため自分へのご褒美を買いたいから(80点・男性23歳・愛知県)
- ・ボーナスなどが入るため欲しい物が増えているため(70点・男性36歳・大阪府)
- ・定額減税は少ないがボーナスが出るので、徐々に欲しい物を買おうと思っている(90点・男性48歳・埼玉県)
- ・ボーナス時期になり少し金銭的にも余裕ができるので思い切って買い物ができると思います(85点・男性55歳・埼玉県)
- ・ボーナスが出るとタブレット端末を購入予定です(90点・男性67歳・大阪府)
- ・ボーナスが出る月なので何か買う意欲が高そうと思ったから(70点・女性24歳・東京都)
- ・夏のボーナスが入ると、減税で手取りが増えるから我慢してた分買い物したい(70点・女性32歳・愛知県)
- ・ボーナスが出るので夏服が欲しい。夏休みがあるから子どもを連れてレジャーにも出かけたい(70点・女性45歳・大阪府)
- ・主人のボーナスが入るのでいつもより消費意欲が高まりそうですが、貯蓄にも回したいので60点(60点・女性51歳・大阪府)
- ・ボーナスが出る家族がいるから気分が高揚しそう(60点・女性64歳・愛知県)

<生活者の声 ~消費意欲指数の理由~【物価高・値上げ・円安】>

- ・物価の値上がりが続いているから(30点・男性29歳・愛知県)
- ・電気やガスといった公共料金の価格高騰に加え食品などの値上がりも続いており消費意欲がわからない(20点・男性39歳・神奈川県)
- ・来年子どもが2人も卒業なので、お金なんて使えない。何もかも値上がりして意欲なんてわからない(5点・男性48歳・愛知県)
- ・収入が少ない。物が値上がりして必要経費が増えてあまり買う余裕がない(20点・男性51歳・大阪府)
- ・物価高。今後も値上げが続きそうで不安(0点・男性63歳・神奈川県)
- ・物価高に加えて、夏で暑いので外出機会が減りそうだから(40点・女性28歳・埼玉県)
- ・定額減税があっても、それ以上に物価高騰と電気料金の補助が終わったことで負担が増えるので、食品、生活雑貨など生活に必要な物しか買いたくないから(10点・女性37歳・愛知県)
- ・何もかも値段が高くなって買い物が憂鬱になってきたから(15点・女性44歳・兵庫県)
- ・景気の良さは全く感じられず、高熱費を始めあらゆる値上げのために、消費意欲は全然上がりません(30点・女性57歳・大阪府)
- ・何もかも高いから、買物を控えたい(20点・女性67歳・東京都)

()内点数:消費意欲指数

補足資料③

特に買いたいモノ・サービス

■ 特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人の割合

Q. あなたが来月(7月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)

	2024年7月(%)	前月比(pt)	前年比(pt)
全体	29.4	+3.6	+1.2
男性	29.8	+6.3	+5.5
女性	29.0	+0.8	-3.2

■ 買いたいモノ・利用したいサービス

(特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人ベース)

Q. 特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

【全体】(441人)

参考:男性(225人)

参考:女性(216人)

順位	カテゴリー	7月(人数)	前月比	前年比
1	食品	209	+23	+23
1	ファッション	209	+30	+1
3	旅行	198	+59	+4
4	外食	195	+26	+24
5	飲料	169	+37	+26
6	書籍・エンタメ	139	+37	+31
6	レジャー	139	+32	+6
8	化粧品	118	+18	+2
9	理美容	112	+13	+3
10	日用品	104	+2	+11
11	家電・AV	101	+23	+15
12	パソコン・タブレット・周辺機器	60	+18	+17
13	装飾品	56	-1	-7
14	スマートフォン・携帯電話	55	+19	+18
14	インテリア用品	55	+7	+3
16	車・バイク	39	+11	+3

順位	カテゴリー	7月(人数)	前月比	前年比
1	旅行	103	+31	+11
2	食品	99	+14	+30
3	外食	92	+15	+23
4	飲料	87	+22	+27
5	書籍・エンタメ	79	+28	+30
6	ファッション	77	+12	+9
7	レジャー	67	+19	+11
8	家電・AV	58	+19	+11
9	パソコン・タブレット・周辺機器	41	+9	+13
10	スマートフォン・携帯電話	40	+20	+20
10	日用品	40	+3	+11
10	理美容	40	+19	+13
13	車・バイク	29	+8	+2
14	装飾品	24	+5	-3
15	化粧品	23	+4	±0
16	インテリア用品	21	+5	-3

順位	カテゴリー	7月(人数)	前月比	前年比
1	ファッション	132	+18	-8
2	食品	110	+9	-7
3	外食	103	+11	+1
4	化粧品	95	+14	+2
4	旅行	95	+28	-7
6	飲料	82	+15	-1
7	理美容	72	-6	-10
7	レジャー	72	+13	-5
9	日用品	64	-1	±0
10	書籍・エンタメ	60	+9	+1
11	家電・AV	43	+4	+4
12	インテリア用品	34	+2	+6
13	装飾品	32	-6	-4
14	パソコン・タブレット・周辺機器	19	+9	+4
15	スマートフォン・携帯電話	15	-1	-2
16	車・バイク	10	+3	+1

<全体にのみ下記基準で色付け>

■:前月比/前年比で20人以上増加

■:前月比/前年比で20人以上減少

※男女別ランキングは、母数が少ないため参考値

調査概要

■ 質問項目(質問文)

[消費意欲指数]

消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(7月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)

また、あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

[特に買いたいモノ・利用したいサービス]

あなたが来月(7月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)

特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

調査概要 生活総研が、生活者の気持ちの変化を読み解くために、生活に関する意識を指数(100点満点評価)で回答してもらうものです。

調査地域 ①首都40km圏 ②名古屋40km圏 ③阪神30km圏

調査対象者 20～69歳の男女

対象者割付 調査地域①～③各500人を各地域の人口構成比(性年代)に合わせ割付

調査人数 合計1,500人

	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	128	140	171	184	131	754
女性	125	137	168	183	133	746
合計	253	277	339	367	264	1,500

調査方法 インターネット調査

調査時期 2024年6月3日(月)～6日(木) (2012年5月から調査開始/毎月上旬に実査)

調査機関 株式会社 H.M.マーケティングリサーチ

<備考>

・「来月の消費予報」は、毎月下旬に翌月の消費意欲指数を発表いたします。

問い合わせ先 株式会社博報堂 広報室(成田・白川) 03-6441-6161 koho.mail@hakuodo.co.jp

データ公開 本調査のデータは、生活総研のホームページ(<https://seikatsusoken.jp/shohiyoho/2024-07/>)からダウンロードしていただけます。